

コロナ禍のため3年間中止となっていた大森学区敬老会が、9月18日(敬老の日)に大森小学校体育館で4年ぶりに開催された。9時30分頃から招待者が体育館に集まり始め、町内ごとに3か所に分かれた入口から入場開始。名簿で確認を済ませ、用意された大型扇風機で



「ようこそお元気で」の歓迎の横断幕が飾られており、壇の前には抽選会の

賞品の花(鉢植え)やカステラが並べられている。当日は残暑が厳しく、体育館内は蒸し暑さ満杯である。

後、一人ひとりの抽選番号札とお茶を受け取り席に向った。体育館の壇上には、国旗とともに「ようこそお元気で」の歓迎の横断幕が飾られており、壇の前には抽選会の賞品の花(鉢植え)やカステラが並べられている。当日は残暑が厳しく、体育館内は蒸し暑さ満杯である。

お お も り

発行所
大森学区自治会
同連絡協議会

発行人 白井 礼司

〒463-0021
名古屋守山区大森四丁目206-1
大森コミュニティセンター内
☎798-6003



百歳おめでとございます

今年、大森学区自治会では4名の方(※)が100歳という記念すべき年齢を迎えられた。その内の一人である、大森一丁目の内藤タカオさんを白井礼司連絡協議会会長が祝福に訪れた。

内藤タカオさんは、大正生まれ。若い頃はボウリングに夢中で、多くの大会に出場して好成绩を収められたとのこと。その活動が、現在の彼女の健康の元となっているのかもしれない。

最後は、連絡協議会の副会長、飯野道彦老人クラブ連合会会長より閉会の言葉があり、来年も参

加できるようにしましよ

うとの呼びかけがなされ

た。

皆さんの健康と更なる

長寿をお祈りします。

**百歳おめでとございます！
100歳の好奇心はまだ続く**

現在も内藤さんはシャキシャキとした話し方で、その大らかな性格で、まわりの人たちからよく慕われている。彼女の元気の秘訣は、毎日パズル本で頭を使うことで、数独やクロスワードなど、さまざまなパズルに取り組んでいて、「パズルをすると、頭が冴えるし、とても楽しい。時間も忘れてしまうほど」と話されていた。

このように、内藤さんは100歳という高齢になっても、好奇心旺盛で日々学び続けているその生き方は、私たちにとても良い手本となる。これからも、元気にお過ごしください。

(※)内藤タカオさん(大森一丁目) 野村孝さんと八代子さん(大森二丁目) 濱川美江子さん(元郷二丁目)

DUSKIN 安心と笑顔でさわやかな暮らしをサポート

喜びのタネをまこう

プロのおそうじ
ServicEMASTER

家事の代行
merry maids

名古屋守山区大森2丁目104
◎清掃・レンタル商品の事なら！見積無料
☎0120-032384
http://nttbj.itp.ne.jp/0527982238/

車の総合病院

車検・修理・钣金・販売

民間車検工場 **(有) 美鈴自動車工場**

大森2丁目102番地 **TEL798-1451**
●国内全メーカー対応 お気軽にご相談ください

三日月に照らされて だれもが踊りだす！ 大森学区盆踊り大会



大森学区盆踊り大会が、7月22日(土)の宵、大森小学校グラウンドで今年も盛大に開催された。このイベントは、地域住民が一堂に会する機会として、長い間若男女の皆さんに親しまれてきたものである。

まだ昼の明るさが残る夕刻、大森小学校の校庭は、楽しみに待っていた多くの人々で賑わい始めた。四方に張りめぐらされた紅白の提灯の下を、浴衣を着た子どもたちが元気よく駆け回り、大人たちは知り合いとの会話や新しい出会いを楽しんでいる。空には三日月がかかり、夏の風がわずかの涼しさを届けていた。

白井礼司連絡協議会会長の開会の挨拶の後、太鼓の音が響きわたり、「百まで踊ろう」や「なごや囃子」など以前から親しまれている曲が次々と流されると、校庭全体に踊りの輪が広がり、夏の夜を盛り上げていった。

中盤に行われた、子ども達による「アラレちゃん音頭」では、多くのちびっ子が櫓の上にあがり、可愛らしい踊りを繰り広げると、親御さん達はカメラやスマホで撮影に大忙し。また、大人たちも「ダンシングヒーロー」や「大なごや音頭」などで盛んに踊った。

そして、「もりやま音頭」が終わると、大会の最後を飾る定番の「炭坑節」である。自治会役員を中心に櫓の上で踊りが披露され、ユーモラスな動きもあって会場をわかせた。

この盆踊り大会は、年代を超えて多くの住民と一緒に楽しみ、地域の絆と伝統を守る良い機会である。大勢の人が集まり、未永くこの行事が続くことを願いたい。

7月22日の大森学区盆踊り大会が実施されるまでには、多くの人たちによる準備が入念になされた。踊り手の中心となる人たちは6月13日から7月20日までの間に7回の練習を重ね、踊りをマスターすることに努めた。7月20日には午後7時から約1時間、東島公園で総合練習を行い、本番に備えた。

会場の準備は大森学区連絡協議会の仕事である。当日の午前9時と午後1時から



猛暑の中、テントを組み立てる

準備万端 いざ本番へ



ら夏の暑さをものともせず、お土産やお茶の準備、テント設営、机・椅子の準備、太鼓台の設営等を行い、午後2時過ぎにやっと準備完了。さらに、夕方には大森消防団の広報車が学区内を巡り、自治会の広報担当者が大会の告知と呼び込みを行った。

これら地域の運営委員による一連の取り組みが大勢の集客につながり、会場は大いに盛り上がり、大会成功へと繋がった。改めて、多くの協力者・参加者にお礼を申し上げます。



内科・循環器内科・小児科

よねづ内科クリニック

	月	火	水	木	金	土
AM9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
PM4:00~7:00	○	○	○	○	○	○

守山区大森1丁目2017番地

☎768-0007

休診日/木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

OA機器・一般文具・事務機器・事務用品

印刷(名刺・伝票)・印鑑・ゴム印

文具ショップ

ピーエス

株 プリントシステム

守山区大森4丁目201番地

☎798-5140

FAX 798-9510

大森天王祭 山車曳行



暑い夏が帰ってきた！ 華やかな山車の巡行！

令和5年の大森天王祭は、8月6日(日)に、4年振りに山車曳行が再開されて、輝かしい夏の祭りの風景を取り戻した。この祭りは、江戸時代に疫病退散を祈念して始

まったもので、コロナ禍を乗り越えての開催には感慨深いものがある。熱々な日差しの中、華やかな山車が大森の町を巡り、長い間待っていた地域の人たちに大きな喜

びと希望をもたらしように感じる。山車を引いたのは従来どおり前厄、本厄、後厄が中心ではあるが、3年間梶取ができなかった後々厄年や後々々厄年の面々も参加することになった。彼らの姿は、白、赤、黄と

間にか遠のいた。特に山車が360度あるいは90度方向転換する時には、担ぎ手に合わせて山車を取り巻く人の「ワッショイ」の掛け声も一段と大きくなる様子が圧巻であり、多くの観衆を魅了した。この山車には、30メートル以上の太い綱が取り付けられている。この綱に触れると1年間の無病息災がかなえられると言われている。山車が止まっているときに子どもやお年寄りが触りに行ったりしていた。

また、「大森・金城学院前」の駅前通りに並んだ幾つもの屋台には、浴衣姿の家族連れや若いカップルが大勢集まり、まさにこちらも熱気むんむんだった。

そして、21時30分、山車が納庫に収まり、大森天王祭の山車巡行は無事終了。久しぶりに夏のお祭りを満喫した一日であった。(なお、この祭りは名古屋市の無形民俗文化財に指定されている)

子ども達も、お年寄りが触りに行ったりしていた。

また、「大森・金城学院前」の駅前通りに並んだ幾つもの屋台には、浴衣姿の家族連れや若いカップルが大勢集まり、まさにこちらも熱気むんむんだった。



暑いなか食べるスイカは格別！



子ども達が町内を練り歩く

夏祭り、早朝！ 子ども獅子が町を練る！

8月6日夏祭りの早朝、大森一丁目第2町内会の子ども獅子宿に子ども達が集まってきた。眠たい顔の子もいれば、親にまともわりついている小さな子もいる。獅子頭に驚く

この日に参加した多くの子どもたちは、きつとこれからも喜んで参加し続けてくれるだろうと、世話役だった町内会の役員達の嬉しそうな顔が印象的だった。

それが終わるといよいよお楽しみの水風船釣りやスイカの食べ放題といったアトラクションである。子どもたちの目は輝き、それを見守る親たちも笑顔になる。

ほとんど、子どもたちの代表二人が獅子頭を持つて宿を出発。八剣神社に参拝し、お祓いを受けた。そして二人が神社から戻ると、今度は全員で町内を練り歩いた。

カーテン・ジュタン専門店

インテリア 丸重

守山区八剣1-506
瀬戸街道八剣バス停西50m
☎(052) 798-0133

和生菓子・慶事・佛事

御菓子司 大泉堂

守山区大森三丁目601番地
TEL 798-0350

第9回 モリスちゃん杯ディスクドッチ大会



健闘おなしく予選敗退...

7月1日(土)守山区内の小学生チームが競い合う「第9回モリスちゃん杯学区対抗ディスクドッチ大会」が守山スポーツセンターで開催された。(N)

ディスクドッチとは、ツギボールのボールを柔らかいディスクに変えた競技で、10人制で行い、最後に自分のコート内に多くの人数が残っている(8)

た方が勝ちとなる。

参加チームは14、AリーグとBリーグに分かれて総当たり戦の予選が行われ、それぞれのリーグの1位と2位が決勝トーナメントに進出できる。

大森学区チームはAリーグで、午前中に3試合、午後3時に3試合を戦った。試合前にキャプテンの竹之内凛人君は、「目標は優勝、準優勝

勝！」と元気に語っていたが、成績は残念ながら1勝4敗1分け、決勝トーナメント進出とはならなかった。しかし、もう少しで勝てたという接戦も多く、その熱意と団結力は強い印象を残した。

試合後、加藤忍監督は悔しさをいっばいにこぼしながら「今回は結果が出せなかったが、選手たちは全力を尽くしました。来年こそは優勝を目指して頑張ろう！」と激励の言葉を選手たちに送っていた。

今大会の優勝は森孝東チーム、準優勝



さあ試合開始だー！



は苗代チームと発表され、会場からは拍手と歓声があがった。

大森学区一斉清掃 地域一丸！環境の美化に貢献

恒例の大森学区一斉清掃が今年も6月4日(日)に実施された。台風2号による大雨から一転、当日は朝から晴天に恵まれ、風がさわやかに吹くなか、午前8時から地域の美化活動が始まった。

清掃は各町内で行われているが、ここでは脇田町を取り上げて報告したい。

町内の住民がそれぞれの区画に分かれて清掃を行い、一部の住民は各家の側溝の泥あげなどに取り組み、残りの住民は脇田公園の雑草取りや周囲の側溝清掃など担当した。80人を超える人々が参加し、約45分間の活動で町内の側溝や公

園は見違えるほど綺麗に なった。

大森学区一斉清掃は、地域が一丸となって環境美化に努める素晴らしい行事である。脇田町内には事業所が数多くあるが、参加している事業所は一部のみである。参加できない事業所でも、事業所周りの清掃を平日頃から行うことで、地域全体の美化に貢献されることを期待したい。



町をみんなできれいに！

すし・ふぐ・らなぎ・活魚料理・仕出し

本 店 守山区大森三丁目 2015 ☎ 052-798-2408
ナゴヤドーム店 東区大幸南1-1-1 ナゴヤドーム3F ☎ 052-719-2221

お祝花・お供花・稽古花・園芸用品

守山区大森八剣バス停前
TEL 798-9148・0412

町内合同防災訓練 —訓練が「減災」につながる—



非常食をみんなで食べる

災害は突然やってくる

9月3日(日)大森三丁目・四丁目・今尻町の6町内会合同防災訓練が行われた。参加者は全部で60人余りである。

この合同訓練は、実際の災害時に近い状況を想定し、各自が効果的な対応をとる力を身につけることを主目的としている。

①避難所の実践運営

「避難所運営ゲームH UG」というユニークなカードゲームを通して、

参加者は実際の避難所の運営を体験した。このゲームは災害時に避難者自身が避難所の運営を行うことの重要性を伝えるもので、グループ活動として、多種多様なカードを用いて、避難所の運営のポイントや注意点を学習した。参加者からは、災害現場の状況を模したこのゲームは非常に有益であったとの評価が多数寄せられた。

②簡易トイレの組立体験

災害時、臨時トイレは重要な役割を果たす。参加者は段ボール製の簡易トイレの組み立て体験を行った。その独特の頑丈さや簡単な組立方法に、参加者から驚きの声が上がっていた。

③非常食の試食

災害時、食料は最も大事な生命維持の要素である。停電や断水を想定した非常食の試食セッションでは、参加者は保存食のレトルト食品を実食体験。中でも、トマトリゾットやわかめご飯は特に人気を集めていた。

この合同防災訓練は、参加者一人ひとりの熱心な取り組みとともに、地域全体の協力があつて成功した訓練であつたといえる。参加者に感謝の意を表すとともに、これからも継続的な防災の取り組みを進めていく決意を新たにしたい。安全な地域作りのために、住民同士の連携と協力が更に強化されることを期待している。(この文章は、当日担当した町内会役員より寄せられたものです。)

この合同防災訓練は、参加者一人ひとりの熱心な取り組みとともに、地域全体の協力があつて成功した訓練であつたといえる。参加者に感謝の意を表すとともに、これからも継続的な防災の取り組みを進めていく決意を新たにしたい。安全な地域作りのために、住民同士の連携と協力が更に強化されることを期待している。(この文章は、当日担当した町内会役員より寄せられたものです。)

関東大震災が発生して100年が経った。その後も、阪神大震災、東日本大震災など大きな災害を経験してきた。地震を減らすことは困難だが、災害を減らすことはできるといふ「減災」への取り組みの重要性を再確認した。そして、住民自身が主体となつて取り組む防災訓練の継続の必要性が共有された。また、訓練は地域の結束をも強化し、住民同士の連帯感を高めることにも役立つ。

参加者は実際の避難所の運営を体験した。このゲームは災害時に避難者自身が避難所の運営を行うことの重要性を伝えるもので、グループ活動として、多種多様なカードを用いて、避難所の運営のポイントや注意点を学習した。参加者からは、災害現場の状況を模したこのゲームは非常に有益であったとの評価が多数寄せられた。

郷祭り人形 大森小学校に展示される



ずらりと並んだ手作り人形

大森郷祭は大森地区(大森学区・天子田学区・大森北学区)で5年に一度、八劍神社の秋季例大祭に合わせて行われる大きなお祭りです。

大森地区の5嶋(東嶋・中嶋・西嶋・新田嶋・向嶋)から八劍神社に飾り馬を献馬するものです。隊列を組んで大森の3学区内を練り歩き、定められた場所です棒の手の演武や鉄砲隊の発砲を行い、最後に八劍神社に飾り馬を奉納します。行列は何百人もの人が連なり豪華なものです。

その行列の人々を、平成3年に大森小学校6年生児童が粘土で作りました。その一部が大森学区自治会(大森学区)のコミセン入口にある下駄箱の上にしばらく並べられていたのを見られた人も多いと思われ、それがこの度、別のところに保管されていたものと一緒になって、大森小学校の南校舎2階にある和室に展示されました。

人形は、先頭の幟半(はん・大森村と墨書された幟り旗)持ちから飾り馬・棒の手隊・鉄砲隊までそれぞれかなり精巧に作られており、大変見応えがあります。大森の伝統文化を知る上で是非一度ご覧になってください。

見学希望の方は大森学区自治会(大森学区)のコミセン(052-798-6003)までお知らせください。(この文章は、人形の引越しを担当された自治会役員より寄せられた原稿に「おもしろ」編集委員が加筆したものです。)

その行列の人々を、平成3年に大森小学校6年生児童が粘土で作りました。その一部が大森学区自治会(大森学区)のコミセン(052-798-6003)までお知らせください。(この文章は、人形の引越しを担当された自治会役員より寄せられた原稿に「おもしろ」編集委員が加筆したものです。)

内科・消化器科・リハビリテーション科

志水クリニック

院長 志水明浩

守山区大森一丁目1204 ☎798-1311(代)

診療時間
平日 午前9:00~12:00 午後5:00~8:00
土曜 午前9:00~午後1:00
休診日 水・土曜午後 日曜・祝日

とみた歯科クリニック

とみた歯科クリニック

歯科 小児歯科 矯正歯科 歯科口腔外科

ご予約・お問い合わせ ☎052-799-0120

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:40~12:30	●	●	●	●	●	●
14:00~18:00	●	●	●	●	●	●

休診日: 木曜日、日曜日、祝祭日
〒463-0021 名古屋守山区大森1-2412

町内対抗親善ソフトボール大会



夏の終わりの熱戦!

連覇!大森一丁目・二丁目連合チーム

始球式



いつもなら秋の気配が漂い始めている9月24日(日)、早朝こそ涼しさが感じられたものの、すぐに太陽が真夏のごとく照りつけ残暑厳しい天候のもと、大森中学校のグラ

ンドで大森学区町内対抗親善ソフトボール大会が開催された。今年度の参加チームは8チームとなり、トーナメント形式で全7試合が行われた。(3位決定戦は行わない。)

審判団はもちろんのこと、試合のスコアの記録・給

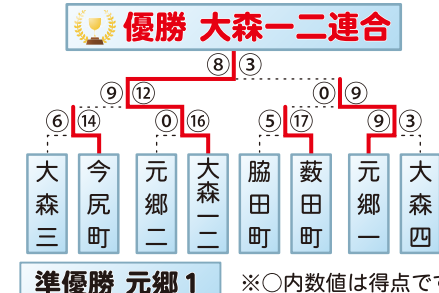
開会式では、白井利司大会委員長(自治会会長)の「楽しく、親善を深める大会になることを期待し、ケガのないように」と期待と注意を促す挨拶があり、そして昨年の優勝チーム大森一丁目・二丁目連合の水谷巖監督から優勝カップが返還された。

試合は白井会長の始球式でスタート。例年は同時に2面にて試合を進めたが、今年は中学校の体育館の工事のため1面のみの使用となった。前年より1時間早い試合開始である。また、昼の全体休憩も無くなり、審判団はもちろんのこと、試合のスコアの記録・給

水の世話・ホームラン賞の授与等に大忙しだったレクリエーション委員の皆さんにとっては非常にタイトなスケジュールとなった。

1回戦から熱戦が繰り広げられ、第1試合の大森三丁目VS今尻町は終始今尻町が主導権を握る試合展開で、大森三丁目の町内会長加藤忍さんの「ドンマイ、ドンマイ」

「まだまだ、いけるよ」との大きな励ましの声にも関わらず、今尻町が14対6で勝利。第2試合は元郷二丁目VS大森一丁目・二丁目連合で、昨年度の覇者大森一丁目・二丁目連合が攻めては16点、守っては相手を0点に抑える圧倒的な強さで勝利。第3試合の脇田町VS藪田町は、藪田町が昨年度出場できなかった鬱憤を晴らすように攻め続け17対5で圧勝。この17得点は今大会の最多得点となった。第4試合は、元郷一丁目VS大森四丁目となり、元郷一丁目が手堅い攻守で9対3と勝利した。



続いて準決勝。最初の試合は今尻町VS大森一丁目・二丁目連合で、昨年の決勝戦の再戦となった。大森一丁目・二丁目連合は先取点を取ったあとにも順調に追加点を奪い12対9と勝利。準決勝もう一試合の藪田町VS元郷一丁目では、元郷一丁目の強さが目立ち藪田町を9対0で退けた。藪田町の新美信之会長は「よくやってくれた。大満足です」と語り選手達の活躍に拍手を送っていた。

決勝戦は、大森一丁目・二丁目連合VS元郷一丁目である。この試合でも先取点を取った大森一丁目・二丁目連合が着実に点を追加して8対3で勝

利、優勝を勝ち取った。見事連覇を成し遂げた大森一丁目・二丁目連合の水谷監督に終了後話を伺うと「このチームは強いと思います。もちろん来年も優勝を狙います」と自信に溢れた言葉が返ってきた。来年の大会が楽しみである。



優勝おめでとうございます!

一般土木・生コン販売・産業廃棄物処理業

矢田川建設株式会社
YADAGAWA CONSTRUCTION CO.,LTD.

大森五丁目1114番地 ☎052(798)1180代表

中日新聞大森専売店

大橋新聞店

大森二丁目2715番地 ☎798-0084

守山消防署と大森消防団 実践的な連携訓練

8月27日(日)、まだまだ厳しい暑さが残る中、大森消防団は守山消防署との連携訓練を守山消防署大森出張所で行った。この訓練は令和2年から始まったものであるが、近年、地震や洪水など災害の頻度が増しており、このような訓練が地域の安全を守るためにますます重要な取り組みとなっている。

さまざまな突発的な事態に迅速かつ正確に対応できる能力を高めるため、消防署の専門家から直接の指導を受けた。特に現場での対応力を鍛えることが主な焦点となった。従来、消防団の訓練では、可搬式ポンプを使用した放水訓練を実施してきたが、今回の訓練では、実際の災害現場を想定し、消防署の大型ポンプ車

を使用して行った。大森出張所を一周してホースを延ばしての放水訓練で、ホースの正しい延長方法や放水の仕方、迅速な取納方法など、多くの技術や知識を習得することができた。実体験を持つ消防署員からの指導は、非常に実践的で、具体的な知見やアドバイスをしてくれて、消防団員たちのスキルや知識の向上につながった。大森消防団の小木曾淳団長は、今後も定期的にこのような訓練を実施し、消防署との連携を強化していく方針である。それによって、地域の安全と安心を維持する活動が実践できるようなることとであった。



災害は予測が難しく、いつどこで発生するかわからない。そのため、常日頃の準備と心構えが求められる。大森消防団のこのような取り組みは、地域の安全を守るために欠かせないものと言える。

秋の一斉大監視 交通安全キャンペーン



名古屋市の「秋の交通安全市民運動」の一環として、9月26日(火)守山区と守山警察署、そして大森学区が協力して「県内一斉大監視」を展開した。15時50分、大森学区連絡協議会のメンバーや山区の係員、守山警察署の署員が吹く笛の合図に合わせて、



いざ出陣!

通行中の車に向かってアピールした。サインボードには「スピード注意」や「ながらスマホ禁止」といったメッセージが印刷されており、運転者たちに安全運転を訴えかけた。愛知県は交通事故死の件数が全国で2番目に多いという深刻な状況にある。一瞬の油断が大事故を引き起こす可能性がある



中町田交差点にて

という自覚を促すために、このような啓発活動も有効な方法である。キャンペーンは約30分間と短い時間ではあったが、アピールの繰り返しで、交通安全の意識向上につながると信じている。

訂正して、お詫びいたします



前号(141号)の記事に誤りがありました。次のように訂正するとともに、深くお詫び申し上げます。7ページ3段目四行目(誤)森田誠二守山消防署長(正)森田聖二守山消防署長(傍線箇所が訂正内容)

セレモニーホール Ceremony Hall
紫雲殿 守山離宮
名古屋守山区八剣2-914
☎ 052-798-4401

美和ロック代行店
錠・鍵・分解・修理交換致します。
やつるぎ金物
☎(052)798-0210
守山区八剣一丁目1406番地

大森天王祭(1)

私達が住んでいる大森地区には、江戸時代からいくつかの祭礼行事が傳承されています。今回はそのうちの「大森天王祭」を取り上げたいと思います。

大森天王祭の由来について

かつて旧東春日井郡大森村(現守山区大森)は、東嶋、中嶋、西嶋、新田嶋、向嶋の5つの「シマ」で構成されていました。

大森村の氏神である八劍神社とは別に、各シマにおいて個々に天王社を祀り、村人が病気にかからないように、飾馬を奉納する祭りがありました。祭は、夏の田植後に津島神社からお札を受けてきて行います。飾馬の奉納は、馬の背に標具(だし)のをせて馬を飾り、5頭そろって各嶋の天王社に巡拝するもので「おまん」と呼ばれました。

これが大森天王祭のもとであり、祭りは若い衆を主体とするシマの組織のもとでおこなわれ、各シマから出された5頭のオマントが氏神である八劍神社やシマの天王社などムラ内の祠堂をまわっていました。

天王祭に山車が出るようになったきっかけは、江戸時代に伝染病が大森で流行した際、大森寺の和尚が大八車二台を運んで、その上に白張提灯を多数灯して若い衆に曳かせたところ、病がなくなったことに由来します。それからは旧暦6月25日に提灯を灯した大八車でムラ中を練り歩くことになったと伝えられています。

これは、疫病除けの津島神社の祭礼で提灯を灯した提灯舟が出されることに因み、農村に広まった風流の一形態でした。

大森あれこれ(7)

その後、明治9年6月(1876)に大森村東嶋の有志が名古屋(現東区)駿河町から古い山車を34円で購入し、大八車に代わって山車を曳行するようになりました。山車は、昼間には屋根を付けて曳き、夜間は屋根を外して、まきわらに多数の提灯を灯して曳行していました。

戦後しばらくは、この天王祭は2日間おこなわれ、初日がオマントの奉納、二日目が山車の曳行でした。瀬戸街道に沿った大森村には、昔から運送用の馬がたくさんいましたが、昭和30年(1955)になると村では馬を飼わなくなりました。さらに昭和34年(1959)の伊勢湾台風を境にオマントを出すことのみでなく、天王祭の山車運営が東嶋だけでは難しくなり、昭和37年(1962)に東嶋総寄りで協議の結果、大森学区自治会へ山車を寄付することになりました。

昭和38年(1963)、大森学区自治会は、大森全体の責任において天王祭を継続してゆくこととし、5嶋と協議をし、新たに大森天王祭山車奉賛会を設立して、天王祭を行うことになりました。この時から山車行事は五嶋と厄歳の人達によって実施され、現在もこの行事が傳承されています。(この文章は、大森山車奉賛会から寄せられた原稿に、「おおもり」編集委員が加筆・修正したものです。)



天王祭の山車曳行

民生委員・児童委員の交代について

新任 新美 裕美(にいみ ひろみ)さん 8月1日付委嘱
担当地区：大森一丁目 100～400番台
 " 1800～2600番台
 藪田町 1000～1800番台
退任 水野 廣男さん 7月31日付解職

大森学区自治会ホームページ開設のお知らせ

従来の「大森コミュニティセンター」のホームページを大幅に改修し、「大森学区自治会」のホームページを立ち上げました。自治会の紹介、行事や活動報告はもちろんのこと、自治会からのお知らせ、回覧板、各種行事の案内、防犯・防災情報など適宜掲載していきます。

また、大森地区の伝統行事である天王祭や郷祭、八劍神社の例大祭についてもページを設けました。

大森コミュニティセンターの案内も掲載しており、開催中の講座も紹介しています。

従来にも増して地域の皆様の交流拠点として親しんでいただければ幸いです。会員の皆様からの自治会への問合せ、ご提案などにも活用していただくことができます。

とにかく、地域の皆様に親しまれるホームページを目指していきますので、どしどしご利用ください。

「大森学区自治会」で検索してもらえればいいのですが、下記のアドレスやQRコードにてアクセスしてもご覧いただくことができます。

<https://www.omjichi.com/>



編集後記

▼敬老会が4年ぶりに開催された。参加者はコロナ禍前よりは少なかったが、それでも会場はほぼ満員となった。残暑が続く蒸し暑い日、そして場内は密集状態で、熱中症とコロナ感染が心配されたが、無事に終了し、関係者はほっと一息とといったところである。

▼大森天王祭でも4年ぶりに山車の曳行が再開され、住民は道路沿いに出て、久しぶりに見る山車の雄姿に歓声を上げる人もいた。「大森・金城学院前」の駅前通りにもずらっと露店が並び、多くの人で大賑わいとなった。やはりお祭りというものは、地域の活性化に欠かせないものと感じた。
▼3年余りもコロナ禍のため閉塞感におおわれていた態から解放され、人々の心もやっと開かれたようだ。コロナ禍前の普通の日常に戻り、そのありがたさをひしひしと感じる今日この頃である。(山田豊明)

編集委員
白井洋行
梅本孝也
加島徹
志水芳春
山田豊明
白井礼司
浦野道雄
川口登喜夫
鈴木忠宣
吉原良一
(五十音順)